



活動報告

今回は、3西病棟と協同で行っている『ストーマラダー』を紹介します。
我が国の永久的ストーマ推定20万人とされており、ストーマの種類や形状、合併症、ストーマに至った疾患、既往歴によってケア方法は異なってきます。昨今は入院期間の短縮化で、ストーマ保有者は短期間でセルフケア指導を受けて退院することになります。また、高齢化で認知症の患者も増えており、セルフケア指導に難渋することもあります。当院のストーマ造設件数は、外科・泌尿器科合わせて年20～25件で、受け持ち看護師として経験できる症例数は決して多くありません。とはいえ、初めてストーマ保有者になる患者にとって、セルフケア指導を行う看護師の知識の有無が一生を左右します。経験で教えるのではなく、『ストーマの造設を受ける患者とその家族に対し身体的・心理的・社会的側面からケア指導を適切に行うためにストーマケアとストーマリハビリテーションの基礎知識を正しく理解する』ことを目標に3西病棟ストーマチーム10名を対象にラダー研修を行うことになりました。初年度は経験年数に関わらず、全員ラダー1を受講してもらうことになり、岡村主任と年間研修プログラムを組みました。月1回(同内容で2回)45分の9回コース、テストは80点が合格ラインです。

1. ストーマリハビリテーションの基礎知識
2. 消化器ストーマ (解剖生理と疾患)
3. 術前ケア
4. ストーマ用品
5. 術直後ケア
6. セルフケア指導
7. ストーマ合併症
8. ストーマ保有者における社会保障制度
9. 症例検討

ストーマラダー1
第1回 資料

ストーマリハビリテーションの 基礎知識



令和2年5月19日/6月22日
皮膚・排泄ケア認定看護師
大西 千代

ストーマケアは系統立てて学ぶ機会が少ないため、次年度はラダー1からラダー2と進め、更なるストーマケアの質の向上を目指します。今年度の研修はあと2回を残すのみとなりました。ストーマチームの皆さん、全員合格目指して頑張りましょう。



認定看護師の豆知識

COVID-19への集中治療

2019年に中国を皮切りに世界中で大流行している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）。全国の集中治療室では重症化した患者を受け入れ、感染リスクと闘いながら重要な命の局面を支えています。罹患患者の重症化で最も多く見られているのが、ウイルスが肺で増殖することで肺炎が悪化し、急性の呼吸不全になるケースです。自力での呼吸が困難になるため、集中治療室にて人工呼吸管理や体外式膜型人工肺（ECMO）を用いて肺を休ませ、ウイルスの排出を待ちます。

人工呼吸器・ECMOってどんな医療機器？

新型コロナウイルス感染症の患者は肺に強い傷害を受けるため、現在罹患患者の約5%が人工呼吸器を必要としています。ただし、人工呼吸器では肺の機能すべてを代替することはできず、サポートしきれなくなったとき、または処置を続けることで肺に不可逆的な傷害を与える可能性があるときは、体外式膜型人工肺（ECMO）の使用を検討します。重症呼吸不全、または重症心不全の患者に使用される、生命維持のための装置です。ポンプにより血液を取り出して、肺の代わりに酸素と二酸化炭素の交換をおこない、血液を体に戻すことで呼吸の補助をします。血液を入れ替える際にカニューレと呼ばれる太い管を体に入れるため患者のリスクは大きく、生命維持の最終手段として検討される処置です。ECMOを使用するにはかなり専門知識が必要となるため、重症呼吸不全に対しECMOによる治療ができる集中治療室は限られています。



人工呼吸器



ECMO

集中ケア認定看護師 水本 あゆみ

病棟ごとの勉強会受付中！

日常の看護に関する疑問や不安など、認定看護師にご相談ください！病棟に出向いての勉強会も受け付けています！

相談お待ちしております

各分野電話番号



救急看護：村上 8863

慢性心不全看護：原谷 8394

感染管理：矢田 8623

皮膚排泄ケア：大西 8397

認知症看護：藤原 8667

集中ケア：水本 8872

